

問 89 国内事情に関する次の記述のうち、最も妥当なものはどれか。

↓チェック欄

- 1 2019年10月時点における育児休業を取得することができる人のうち、実際に取得した男性の割合は6.2%、女性の同割合は83%となり、男性の同割合は過去最高となった。
- 2 2020年度の最低賃金について、厚生労働省の審議会は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、2019年度水準に据え置く方針を示した。その後、各都道府県で議論した結果、最低賃金は全国平均で1円引き上げられ、時給902円となった。
- 3 2019年度の食料自給率（カロリーベース）は、魚介類が不漁となり、コメ消費が減少した一方、小麦の作付面積に対する収穫量が増加したことなどにより、前年度から1ポイント上昇して38%となった。これにより、2030年度の政府目標を達成した。
- 4 2020年7月、Twitterで写真がリツイートされた際に、Twitterの仕様によって自動的に上下が切り取られ、著作者の名前が表示されなくなることについて、最高裁判所は著作者が持っている権利を侵害したとは言えないとする判断を示した。
- 5 2020年4月時点の保育所等の空きを待つ待機児童数は、1万2439人となり、昨年同時期と比べて4333人下回り、1994年の調査開始以降最少となった。これにより2020年度末までとしていた政府目標を達成した。

## 解答・解説

- 1 誤り。6.2%ではなく7.48%である。男性の育児休業取得割合に関する政府目標は、「2020年までに13%、2025年までに30%」である。
- 2 妥当である。最低賃金は、企業が従業員に最低限支払わなければならない賃金で、厚生労働省の審議会が示す目安をもとに、都道府県ごとの労使の話し合いで引き上げ額などが決まり、10月1日から順次、適用される見通し。
- 3 誤り。政府目標は2030年度に45%で達成していない。なお、生産額ベースは66%で前年度から横ばいだった。
- 4 誤り。「侵害したとは言えない」ではなく、「侵害したと言える」である。裁判長は「リツイートの画像をクリックすれば著作者の名前の表示がある元の画像を見ることができるとしても、画像をクリックしないかぎり、著作者の名前を目にすることはないと指摘。その上でリツイートによって著作権者の名前が表示されなくなったことは、著作者が持っている「名前を表示する権利」の侵害に当たると判断し、Twitter社の上告を退け、リツイートした人たちのメールアドレスを開示するよう命じた。5人中4人の多数意見。
- 5 誤り。政府目標は、2020年度末までに待機児童を“ゼロ”にすることだが、達成は困難とみられている。待機児童数が減少した主な理由について厚生労働省は、都市部を中心に保育の受け皿の整備が進んだためとしているが、特定の保育所を希望するなどして空きを待つ、国定義の待機児童にあたらない「隠れ待機児童」は、全国で少なくとも4.6万人に上るとされている。

## Topics

### ●最高裁リツイート判決の補足意見

選択枝4について、裁判長は、今回の判断がTwitterの利用者に与える影響について、リツイートの際に画像の出所や著作者名の表示、著作者の同意などを確認する負担や、権利侵害のリスクに対する心理的負担が一定程度生じることは否定できない。しかし、それはインターネット上で他人の著作物の掲載を含む投稿を行う際に著作者の権利を侵害しないために必要な当然の負担であるとの補足意見を述べた。その上で、Twitter社に対して裁判長は、リツイートする人は画像の上下が切り取られる表示のしかたを変更できない。今後もそのような仕様のことを知らない人は意図せずに著作者の「氏名表示権」を侵害してしまう可能性がある。これを利用者の意識の向上に委ねるべきではなく、社会的に重要なインフラとなった情報流通サービス提供者であるTwitter社の社会的責務という観点からも利用者に周知するなど、適切な対応を取ることが期待されるとした。